

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0031 東京都品川区西五反田8-1-1 鈴友ビル4F TEL 03-5719-7601 FAX 03-5719-7603 E-mail info@classic.or.jp http://www.classic.or.jp/

2017年4月30日発行 第16号 (季刊・毎年1、4、7、10月発行) 発行人: 関田正幸 編集人: 徳永英樹

音楽事業の連携シンポジウム

「ネットワーク構築による共同制作の現状と可能性」開催報告

昨今、全国的に共同制作やネットワーク事業が定着し、様々な形態で進化していますが、劇場間の連携や、劇場とプロダクションによる連携が多く、アーティストを擁する音楽事業者が連携先として参画していない事例が多く見受けられます。これは助成制度の枠組みのみの問題なのか、はたまた音楽事業者に対する不信感等からなのか、多様化するネットワークの事例を踏まえ、共同制作のメリット・デメリットや、音楽事業者はどのように捉えられているのかを探り、今後の友好的な関係作りに向けた効果的な施策、どのようなアプローチが必要かをお聞きしました。



基調講演: 小林沙羅 (ソプラノ歌手)

パネリスト: 上野喜浩 (すみだトリフォニーホールチーフ・プロデューサー)、中村よしき (東京芸術劇場音楽制作)

仁科岡彦 (日本オペラ振興会事業部部長)、大和滋 (日本芸能実演家団体協議会参与)

司会・コーディネーター: 入山功一 (当協会副会長/AMATI代表取締役社長)

冒頭の基調講演は、ソプラノ歌手の小林沙羅さんによるアーティストからの現状報告が行われました。全国共同制作プロジェクトとして歌劇「フィガロの結婚」にて全国10館14公演を行ったネットワークの事例より、アーティストの視点でネットワーク事業に対する成果や苦勞、提案等を講演いただきました。オペラは通常3公演程度が多いなか、公演回数が多くなれば役への理解が深まり経験が積める他、経済的なメリットが生じる事により時間的な余裕が生まれ、稽古にキャスト全員が揃うので無駄が無い。反面、移動による疲労やストレス、外国人キャストには言葉の問題や、アンダースタディの必要性等が述べられました。又、課題として、多くのホールで公演することからワークショップ等の関連事業を実施すれば地域との更なる連携が深められる他、全国各地での個別広報の取り纏め役の必要性、SNSを活用した情報発信について提案もなされ、ネットワーク事業の更なる活性化に向けて、公共ホールが互いをもり立ててクラシック界全体が元気になるように繋がりを

作っていったら良いのではと示唆がありました。

続くパネルディスカッションでは、ネットワーク事業をリードしている二つの公共ホール、積極的な共同制作を推進しているプロダクション、ネットワーク事業を取り巻く公的支援制度の成り立ち等について、4名のパネリストをお迎えし、当協会の入山功一副会長のコーディネートにより進められました。

東京芸術劇場の中村氏からは、共同制作事業は2012年に法律化された通称「劇場法」の施行を受けた法的根拠に基づいた事業展開であり、連携館は大規模な創造発信型のホールで制作責任者の存在が必要、又、買い取り公演との違いは、プロデューサーや制作担当者がプロジェクトの中で何らかの役割を担うことから、最低限情熱及び制作能力が必要であり、そこが買い取り公演との違いであると報告が行われました。入山氏からはネットワーク化におけるオリジナリティとの矛盾について質問があり、地域にゆかりのあるキャスト等の選定や、合議制での取組みにより、その点はカバーしているとの事。ネットワーク事業の先駆的な活動を推進しているすみだトリフォニーホールの上野氏からは、ネットワークの背景にある「コンサートホール企画連絡会議」の取組みや活動について報告があり、日本初のフランチャイズオーケストラの取組みや、ホールの開館・立地等からオリジナリティある企画を創出した背景、又、音楽事務所と協力して実施した事例から、アーティストの立場で仕事をしている音楽事務所と意見交換する事で良い形になっているとの説明が行われました。日本オペラ振興会で事業部部長を務める仁科氏からは、藤原歌劇団の共同制作の事例を踏まえ、ホールが自主制作を出来るようになるとオペラ団体は歌手を出すだけのマネジメント会社になるとの警鐘を鳴らしつつ、劇場の意思でオペラが作られると、プロダクションの壁を超えたキャストिंगが可能となり、歌手も多くのチャンスに恵まれるとのメリットが報告される他、実績を持つ共同制作であっても公的資金の確約はなされないのが、取りやめた事例もあり、新たにスタートした様々な共同制作も踏まえ、同じような形で続ける事は難しいとネットワークの継続性・資金面での課題について触れられました。日本芸能実演家団体協議会の大和氏からは、公立文化施設の自主事業予算の減少と事業の見直しの流れの中で、文化芸術振興基本法の制定、その後の劇場音楽堂の法整備への道筋から、共同制作開始の歴史的背景など、文化芸術の公的支援の成り立ちと変貌について説明が行われました。続くシンポジウムでは制作力を高めると劇場法では言うが効率が悪く苦勞も多い点や、共同制作に音楽事務所が参画すれば業務が軽減するのでは等の意見が出され、商業ベースとは別の視点での取組みも踏まえ民間事業者が出来ない部分をホールが担っていると言う自負もあるとの意見もありました。

終わりに、司会・コーディネーターの入山氏より、音楽事業者は、このように多様化するホールのニーズを汲み取ることに鈍感であったのではないかと、それにより共同制作の現場参入に遅れをとった面も否めないのではないかと提言がありました。その一方で、パネリストたちの話から、様々なノウハウと実績のある音楽事業者との連携は必要不可欠との認識が確認出来たことは大きな収穫であるとの総括をもって閉会となりました。

Topics

第2回会員研修会「グランドライツ(上演権)への理解を深める」開催

平成28年度の第2回会員研修会が平成29年3月7日渋谷のFORUM8にて開催されました。テーマは「グランドライツ(上演権)の理解を深める」として、グランドライツについては二回目のテーマとなりました。今回はグランドライツを巡る権利処理に焦点を宛て、ショット・ミュージック代表取締役副社長 進藤裕子様、東京二期会事務局長 山口毅様のお二人の専門家と、弁護士の桑野雄一郎先生をゲストに迎えて開催致しました。進藤氏からは、グランドライツとスモールライツの違いは、音楽作品の利用形態がポイントである事。管理の国内事情を踏まえ、確認のポイントとして外国作品か国内作品か、権利者は誰か等権利処理のシミュレーションが行われました。又、オペラやダンス等の様々な事例を踏まえ、確認時間もプロセスも異なるのでケースバイケースであり、何が出来て、何が出来ないか、申請先としっかりと協議して進める事が重要。上演に向けた権利処理の為の事前準備としては、使用作品が著作権の保護期間内であるか否か、戦時加算法にも注意し、JASRACのデータベースのみで判断せず、出版社への直接確認も一考。作品の改変、切り貼り等は権利者への早期相談が重要であり、グランドライツの権利処理は事前が鉄則、企画段階で要確認との説明がありました。東京二期会の山口氏からはオペラ制作におけるグランドライツの事例紹介、海外との共同制作の場合の文芸費等の権利処理、費用負担の取り決めや、プロダクションレンタルの場合の取り決め等について説明いただきました。司会の入山副会長からは権利処理に不慣れな主催者に対し、我々事業者が権利問題について意識して、予算確保を勧める等のコミュニケーションも重要になると補足があり、質疑応答では15名の参加者から積極的な質問や情報提供があり、法律的な解説も交えながら、理解を深めました。



左から：山口氏、進藤氏、桑野氏、入山副会長

関西地区連絡協議会「広報プロモーションの取り組みについて」開催

当協会の関西地区会員の積極的な交流を図るため、関西地区連絡協議会が平成29年2月23日(木)いずみホール・リハーサル室にて開催されました。

正会員5社9名、賛助会員8社18名、役員・事務局6名の、計33名の参加を得て、前半の協議会では広報プロモーションをテーマとして、主に各社の会員組織(ファンクラブ)と、SNS等の情報ネットワークを活用した新時代の広報戦略について、情報交換を行いました。ネットでの会員組織については導入している会員が多く、券売に繋がっているが、SNSの活用についてはまちまち。

担当者の個性を活かした情報発信をしているところもあれば、発信内容の組織決済の問題や、炎上への恐れ等、SNSの効果性への疑問も投げかけられました。

一方、クラシックファンの特性として、最初の情報取得がチラシであるとの意見が多く、紙媒体の重要性も依然としてある事も補足されました。

後半の懇親会はホワイエに会場を移し、リラックスした雰囲気での歓談や名刺交換の場となりました。尚、今回の会場については、正会員であるいずみホール様の全面協力のもと、開催されました。ご協力に会員一同感謝申し上げます。



「クラシック音楽事業ガイド」近日発行

隔年で発行中の「クラシック音楽事業ガイド」の2017～2018年版を、今年6月末に発行するべく、ただいま編集作業を進めております。

協会の活動概要・アーティスト情報の他、全国の音楽ホール・文化財団等のリスト等を網羅いたしますので、引き続き音楽事業に携わる方々の必携のガイドブックとして、又クラシック音楽愛好家の方々からも日常活用する資料として重宝していただけることと存じます。

現在、関係各位・団体の御支援を得て、より充実したものにすべく準備を進めております。どうぞご期待ください。

(写真は2015～2016年版)



Activities

- 1月13日 第3回定例理事会、平成29年新年会
第3回定例理事会では、各種事業の進捗報告の他、制度改革、役員選任委員会の設置、後援名義使用承認について審議されました。新年会は正会員・賛助会員の皆様、役員各位の総勢120名以上のご出席をいただき盛大に開催されました。
- 1月23日 平成29・30年度の役員改選に関する公示
- 1月27日 第1回役員選任委員会
- 1月30日～2月15日 「クラシック音楽事業ガイド 2017-2018」会員情報登録受付
- 2月1日 役員予備選挙立候補・推薦受付開始
- 2月1日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業 愛知セッション 二次審査
- 2月1日 心の復興音楽基金 2017年度前期支援対象活動 応募受付開始
- 2月10日 音楽事業の連携シンポジウム「ネットワーク構築による共同制作の現状と可能性」(於:国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟402会議室)
(詳細は1面参照)
- 2月15日 役員予備選挙立候補・推薦締切
- 2月22日 役員予備選挙投票開始
- 2月23日 関西地区連絡協議会(於:いずみホール)
(詳細は2面参照)
- 2月28日 心の復興音楽基金 2017年度前期支援対象活動 応募締切
- 3月7日 平成28年度第2回会員研修会「グラウンドライツ(上演権)への理解を深める」
(詳細は2面参照)
- 3月8日 役員予備選挙投票締切
- 3月14日 第2回役員選任委員会
- 3月17日 心の復興音楽基金 2017年度前期支援対象活動 結果通知
- 3月24日 平成28年度第2回四役会
- 3月24日 平成28年度第4回定例理事会
28年度事業報告・決算着地見込及び29年度事業計画・予算案、役員選任委員会答申案、退会会員の審議を行ったほか、消費税リバースチャージ問題について意見交換がなされました。

- 3月27日 第7回経営懇談会「これからのクラ協を考える」
- 宝くじドリーム館プレミアム・クラシック・コンサート
東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。



1月18日 東京

出演:永井 由比/フルート(音楽芸術家協会所属)
犬飼 新之助/ピアノ



1月19日 大阪

出演:北島 佳奈/ヴァイオリン(ミليونコンサート協会所属)
加地 美秀子/ピアノ



2月15日 東京

出演:白石 光隆/ピアノ(プロ アルテ ムジケ所属)
鈴木 慎崇/ピアノ



2月16日 大阪

出演:野尻 小矢佳/パーカッション&ボイス(ノジリスタジオ所属)



3月15日 東京

出演:磯 絵里子/ヴァイオリン(1002所属)
瀧村 依里/ヴァイオリン(プロ アルテ ムジケ所属)
神谷 未穂/ヴィオラ(ミليونコンサート協会所属)
唐津 健/チェロ(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)



3月16日 大阪

出演:野口 千代光/ヴァイオリン(コンサートイマジン所属)
北島 佳奈/ヴァイオリン(ミليونコンサート協会所属)
大野 かおる/ヴィオラ
奥田 なな子/チェロ(ミليونコンサート協会所属)



Relay Essay

ショパンコンクールの舞台

ショパンコンクールといえば、最高峰のピアノコンクールとして知らぬ人はいない。その会場は、ワルシャワの「フィルハーモニーホール」である。

さて、私はこのショパンコンクールの舞台に立った。こういうと何ごとかと思われるだろうが、私はまさにその舞台に立ち、あまつさえピアノを弾いてしまったのである。

もったいぶらずに種明かしをすると、こういうことである。私は、20年ほど前、ある仕事で当地に行ったのだが、同行した会社の担当者が、私がピアノが大好きなことを知っていて、フィルハーモニーホールの見学をセットしてくれていた。当日は、案内されるまま、客席はもとより楽屋も見ることができた。その楽屋には、立派な練習用ピアノがあるのはもちろんだが、私などレコードでしか聴いたことのないマエストロたちの写真が壁に並び、その巨匠たちが腰を下ろしたであろう、いかにも歴史がしみ込んでいるソファが置いてあるのであった。

そのような雰囲気には私は完全に圧倒された……。

その日、ステージでは翌日のピアノリサイタルのリハーサルが行われており、私たちは客席でそれを聴く機会に恵まれた。そうしているうち、私は、自分がとんでもなく貴重な時間を過ごしているのだという感激に浸っていくのと同時に、自分もこんなところで弾いてみたら、みんなが驚くような演奏ができるのではないかという思いがふくらんできていた。そんなとき、リハーサルが終わると、ホールの責任者と思われる人が、私に、舞台のピアノを弾いてもいいですよといってくれたのである(後からきくと、会社の担当者が頼んでおいてくれたそうである)。

私は、突然のことにびっくりしてしり込みしたが、すぐにこれは二度とないチャンスであることに気づきピアノの前に座った。

しかし、ピアノの前に座ってみると、周囲にはホールや放送局の関係者が数人いるだけなのに、何ともいえない緊張感に私は押しつぶされていった。私は、大胆にも、そのころ練習していたショパンの「華麗なる大ポロネーズ」を弾こうとしたのだが、その瞬間、「ああ、アルゲリッチもボリーニも、アシュケナーズも内田光子も、そういう大天才たちが、この舞台上で、鮮烈なデビューをするために、緊張しながらも若い情熱をぶつけてきたのだ。」という思いが私の心をよぎり、その同じ舞台に私がいてショパンを弾こうとしていると思ったとたん、驚いたことに私の体は全く動きがとれない状態になり、指先どころか腕全体がふるえるような感覚がきて、自分ではどうしようもなく何も弾けなくなってしまった。私の触れている鍵盤はなんだかとても遠くにあるようで、いくらしっかり弾こうとしても、出てくる音は弾いている自分にも届かないくらいの貧弱な音だった。

私は、残念なことこの貴重な時間をあたふたしたままほとんど無駄にしてしまった。私はそれまでに何度も、かなりの人たちが聴いてくれるところで(あるときは数百人の前で)ピアノを弾いたことがあり、「あがってしまう」という状態は幾度も経験済みで、また数え切れないほどの失敗と苦い思いをしてきたが、このフィルハーモニーホールでの感覚は、それまでには一度も感じたことのないものであった。

結局この経験は、ショパンコンクールの文字どおりの舞台であるフィルハーモニーホールのステージが、仮にも私などが「いいチャンスだ」などという気持ちで上がり、さらにはピアノを弾いてしまうなどということをしてはいけない本当に真剣勝負の場所であり、そこには私には想像すらできない世界があるのだということを改めて気づかせてくれた。



ピアノを習い始めるころ～練習がいやでした

そのようなことがあって、私はそれまで以上にピアノを練習するようになった。実は、このワルシャワでの経験によって、私は、人前でピアノを弾くとき、以前よりずっと度胸がすわり「あがる」などということはなくなっただろうと密かに思っていた。そして私はその2年後、友人とともに約70人ほどの人たちの前でベートーヴェンのピアノトリオ「大公」を披露に及んだのだが、私の舞台度胸は何の改善もされていないことが判明してとてもがっかりした。

私は、4歳のときから親にいわれてピアノを始めたが、ご多分にもれず練習がいやでいやでしかたなかったこともあり、小学校5年生のときにやめてしまった。その後、15歳のときだったかに、どうしてもピアノが弾きたくなくてレッスンに通い始め、数年前に先生が亡くなるまで月に1度レッスンを受けていた。

私は、ピアノを通じて広い交友を得ただけでなく、「ショパンコンクールの舞台」に立つという得難い経験をすることができた。その経験を生かす能力が私にあったかどうかはともかくとして、あの舞台で音を出せたということだけで、無理矢理ピアノの前に座らせてくれた私の母親に、今さらながらに感謝しているのである。

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 監事
トニカ法律事務所 弁護士
栗林 信介



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,500人、登録曲 5万曲以上

古今東西のピアノ曲を集めた無料データベースです

楽曲解説、演奏動画を数多く提供中

閲覧数は年間約 2,000 万 PV

ピアノ曲事典

検索

www.piano.or.jp/enc/



広告募集中

発行部数: 600部

配布対象: 協会会員・関係団体・官公庁等
年4回発行(1月、4月、7月、10月予定)

料金: 1 枠(天地58mm×左右92mm) 1万円(消費税別)

お問い合わせ: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5719-7601

E-mail. info@classic.or.jp

What's New

会員情報

[人事]

正会員 公益社団法人関西二期会
事務局長 堀田栄作
参与 清水光彦

正会員 株式会社東京コンサート
代表取締役副社長 尚 紀子(新任)
(取締役 大森瑞恵氏は退任退職)

賛助会員 株式会社電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
取締役 馬場敏行(新任)
取締役(非常勤) 吉崎圭一(新任)
取締役(非常勤) 平尾智是(新任)
(取締役 三浦信樹氏、取締役 中村理一郎氏、監査役 西村努氏は退任)

[協会担当者変更]

賛助会員 株式会社東京国際フォーラム
(旧)郡司彰子 (新)光沢早苗

賛助会員 ヤマハ株式会社
(旧)高橋晴二 (新)磯部弘司

[退会]

賛助会員 有限会社アルデンテ・ミュージック・トーキョー

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。

今後の活動予定

- 5月15日 平成28年度事業・会計監査
- 5月26日 平成29年度第1回定例理事会
- 5月22日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業 登録アーティスト 第1次選考
- 6月9日 平成29年度定時会員総会、正会員懇親会
会場:東京オペラシティ会議室を予定
- 6月26日・27日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化事業 登録アーティスト 第2次選考
- 宝くじドリーム館
ランチタイム/トワイライト クラシック コンサート
4月19日 東京
ヴィタリ・ユシュマノフ/バリトン(ブラームスホール協会所属)
4月20日 大阪
江崎浩司/リコーダー 他(オレンジノート所属)
5月17日 東京
森岡有裕子/フルート(ミリオンコンサート協会所属)
5月18日 大阪
泊真美子/ピアノ(東京コンサート所属)
6月21日 東京
加藤文枝/チェロ(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)
6月22日 大阪
高橋和歌/ヴァイオリン(音楽芸術家協会所属)

※6月以降も開催します。



クラシック音楽事業ガイド 2015-2016

これは便利!

クラシック音楽関係者必須のガイド・ブック



●日本のクラシック音楽活動を担う音楽事務所、コンサートホール、音楽関連公益法人など、本協会会員の98法人の紹介。さらに、●アーティスト一覧 ●関連機関団体名簿 ●全国のコンサートホール名簿 ●クラシック音楽活動をサポートする企業各社の広告 など、今すぐ役立つ情報がコンパクトにまとめられています。全国の大手楽譜・音楽書取扱店ほか、協会事務局でも発売中。

(隔年発行につき、今回は2017年6月末発行予定)

定価 ■ 本体952円+税

発行 ■ 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



音楽とともに働きたい人の必携書!!

クラシック・コンサート制作の基礎知識 好評発売中

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが完成しました。実践経験豊かな第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら15名による渾身の執筆です。

定価 ■ 2,160円(本体2,000円+税)お申込み・お問い合わせは事務局まで。

発行 ■ 株式会社ヤマハミュージックメディア

制作 ■ 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、65年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けて「JAPAN CLASSIC FESTIVAL」や、「こども青少年普及プロジェクト」等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為の事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正会員〈平成29年3月31日現在〉

朝日新聞社企画事業本部・浜離宮朝日ホール
(株)アスペン
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
いずみホール
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(有)大阪アーティスト協会
(株)音楽芸術家協会
(株)音楽之友社
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
コンサートイマジン
(株)ザ・シンフォニーホール

(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
(株)新演
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサーツ
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(公財)日本オペラ振興会
ハーモニージャパン(株)
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(株)ブライトワン

ブラームスホール協会
(株)プレルードイオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会

賛助会員〈平成29年3月31日現在〉

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
(株)朝日放送 イベント事業部
(株)イープラス
上野学園石橋メモリアルホール
(株)王子ホール
(株)オカムラ&カンパニー
(株)オフィス・フォルテ
(株)オペラ王国社
(株)カメラータ・トウキョウ
Kトレーディング(株)
コジマ・コンサートマネジメント
サントリーホール
(学)尚美学園
昭和音楽大学
スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナーレ・アートオフィス
(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール
(株)旅工房 国際旅行事業部
(株)中京テレビ事業

(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 総合ビジネス局
(株)テレビ東京 営業局 営業・事業センター イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
東海テレビ放送(株)
(株)東京MDE(月刊ぶらあぼ)
(株)東京国際フォーラム
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
(公財)都民劇場
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局文化事業部
(株)ノジリスタジオ
Hakuju Hall
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公財)びわ湖ホール
フェスティバルホール

(株)フリーウェイ
(株)フロレスタン
毎日新聞社事業本部
(株)毎日放送事業局
(株)松尾楽器商会
三重県文化会館
三井住友海上しらかわホール
宗次ホール
ヤマハ(株)
(一財)ヤマハ音楽振興会
横浜みなとみらいホール
読売新聞社東京本社文化事業部
(公財)ロームミュージックファンデーション

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

〒141-0031 東京都品川区西五反田8丁目1番1号 鈴友ビル4F TEL:03-5719-7601 FAX03-5719-7603
URL: <http://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp